

福島イノベーション・コースト構想 イノベ地域における担い手拡大推進業務
「大学等と連携した次世代人材向け情報発信」公募型プロポーザル 質問書に対する回答書

No.	質問項目	質問内容	回答
1	○委託仕様書 3 ページ 4 業務内容 (5) 講義・イベントの実施等について 4- (5) -ア	大学等とあるが、海外の大学も対象となるか。また、その際にオンラインによる講義の開催は可能であるか。	本業務の目的に合致し、有効な成果が見込める場合は、事前に機構の了承を得ることで対象に含めることが可能です。また、オンラインによる講義の開催も可能です。ただし、事前に対象大学および機構の了承を得ること、ならびに会議システム等のオペレーション全般へ万全に対応することを条件とします。
2	○委託仕様書 3 ページ 4 業務内容 (5) 講義・イベントの実施等について 4- (5) -ア	業務内容 (5) に3校程度新規の大学等とあるが、大学と大学院を同じとみなすか、別としてカウントするか。(例：福島大学1年生向け講義と福島大学大学院の地域系ゼミ内での講義)	新規大学等のカウントについては、同一の大学法人(学校ごと)である場合、学部と大学院を別々ではなく「同じ1校」としてみなします。なお、講義回数のカウントについては、同一大学であっても、対象学生や講義内容が異なる場合は、それぞれ独立した講義回数(20回以上の中の回数)としてカウントします。
3	○委託仕様書 3 ページ 4 業務内容 (5) 講義・イベントの実施等について 4- (5) -イ	(5) のオフライン形式のイベントについては集客が見込める地域(関西地域等)とあるが、名古屋を中心とする東海地域及び福岡を中心とする九州地域を候補とすることは可能か。	仕様書にある「関西地域等」の「等」には東海地域や九州地域も含まれます。ターゲットとなる大学生等の集客が十分に期待できる具体的な根拠や企画をプロポーザルにてご提案ください。
4	○委託仕様書 3 ページ 4 業務内容 (5) 講義・イベントの実施等について 4- (5) -ア	現在調整している大学はどこか。	公募の公平性を期すため、現在調整中の具体的な大学名についての事前開示は行いません。契約締結後、受託事業者に対して情報を開示・共有し、以後の連絡調整を行っていただきます。なお、昨年度までの実施大学一覧は仕様書別紙をご確認ください。
5	○委託仕様書 1 ページ 3 背景及び目的 ※ふくしまイノベゼミ 4 業務内容 (4) 「ふくしまイノベゼミ」の情報発信回数等について 4 - (4) -イ	今年度の「ふくしまイノベゼミ」での情報発信について、具体的にどのような内容を想定しているのか。	配信内容については、以下の内容を想定しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・機構に関わりのある企業・団体等の紹介 ・イノベ地域で開催するイベントやツアーの紹介 ・イノベ地域の日常の様子 ・福島県や浜通りの最新情報 ※これらを中心に、若者世代の興味関心を惹きつける画像・テキストを受託事業者にて企画・作成いただきます。
6	○委託仕様書 2 ページ 4 事業内容 (2) 大学生等への情報発信について 4- (2) -ア	4 業務内容 (2) アの項目について、イノベ構想への参画につながる内容の情報を10回以上発信することとあるが、こちらの内容については事前確認等は必要か。また、自社媒体(note、instagram等)でも問題ないか。	事前確認は必要です。また、発信内容やスケジュールについては、事前に機構と協議・確認のうえで実施してください。 発信媒体については、自社媒体(note、Instagram等)の活用は可能です。ただし、ターゲットである大学生や若者世代へ効果的に届く媒体であるか精査するため、事前に機構の了承を得てください。